

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 041	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 小麦「ゆめかおり」における追肥時期と品質及び加工適性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 「ゆめかおり」は本年から奨励品種に採用されたパン小麦である。これまでに本県で作付けられてきた「ユメシホウ」では播種時期と追肥時期の違いなどにより生産者間で品質やパンへの加工適性に違いが生じる場合があり、「ゆめかおり」でも同様の問題が懸念されている。そこで「ゆめかおり」の播種時期と追肥時期を変動させ、品質・収量と加工適性について解析を進めていただきたい。また、近年育種が進められている小麦新品種について本県への適応性を調べていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① <input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 麦類奨励品種決定調査試験、普通作物における安定生産技術の開発			
対応の内容等 ‘ゆめかおり’等の温暖地向けパン用小麦品種については、他県等でも栽培特性や加工適性についても十分な知見が得られておらず、各種の検討が進められています。当所でも「普通作物における安定生産技術の開発」の中で、現在、品質・収量向上に向けた施肥試験を実施しています(対応区分②)。また、「麦類奨励品種決定調査」の中で、麵・パン用及びデュラム等の新形質の小麦の新品種・系統について、特性及び本県への適応性を検討しています(対応区分②)。 一方、子実成分、生地物性等の加工適性の前提となる要素については、今後検討を進める予定ですが(対応区分②)、パンへの加工適性の定量的な解析はできませんので、既存品種等との比較結果等の情報について提供します(対応区分⑤)。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			